

籾黄化率情報〔コシヒカリ（8月31日）〕

上越農業普及指導センター

1 籾黄化率

5月10日頃に田植えをしたコシヒカリ（出穂期7月23～25日）では、籾の8割以上が黄化し、ほぼ収穫適期を迎えていますが、ほ場間でのばらつきも大きくなっています。

表 8月31日現在の積算気温、籾黄化率、刈り取り適期予想

品種	地点	田植	出穂期	出穂期後 積算気温※	籾黄化率	刈り取り 適期予想
コシヒカリ	下稲塚	5/11	7/25	944	83%	9/1
	南新保	5/9	7/23	1,017	82%	9/1
	岩野	5/20	8/2	759	45%	9/10
	上百々	5/18	7/28	921	75%	9/4

※ 現地ほ場に設置した積算温度計の実数値

2 今後の管理

（1）適期収穫

- ア 籾黄化率が85～90%に達した時期が収穫の適期となります。出穂期後の積算気温をめやすとして活用し、実際の収穫適期はほ場ごとに籾黄化率を確認して判断しましょう〔積算気温表は、普及指導センターHP（<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/jouetu-fukyuusennta/>）で公開しています〕。
- イ 新潟地方気象台が発表した北陸地方の1か月予報（8/29-9/28）によると、今後1か月程度は気温が高い状態が続く見込みです。刈り遅れによる胴割粒や基部未熟粒の発生を防ぐため、計画的に収穫作業を進めましょう。

（2）水管理

- ア 稲の活力を維持するため、出穂期25日後までは地域の番水計画等を確認し、計画的に飽水管理を継続しましょう。また、暑いときに深水にすると根腐れを助長し、収量・品質の低下につながるので、湛水するときは3cm程度の浅水にしましょう。
- イ 台風等の影響で乾燥した強風や極端な高温が予想される場合は、白穂等の発生を防ぐため早めにかん水しましょう。

※限りある農業用水は地域全体で大切に使い、かけ流しは絶対にやめましょう。

※農作業中はこまめな休息や水分補給等の熱中症対策をしましょう。

＜参考＞コシヒカリ粃黄化率

➤ 下稲塚〔出穂期後積算気温 944℃、粃黄化率：平均 83%〕



➤ 南新保〔出穂期後積算気温 1,017℃、粃黄化率：平均 82%〕



- 岩野〔出穂期後積算気温 759℃、籾黄化率：平均 45%〕



- 上百々〔出穂期後積算気温 921℃、籾黄化率：平均 75%〕

